

開館
40周年
記念

油井コレクションと その時代〔前期〕

美術市場を駆け抜けたコレクター 油井一二

昭和58年(1983)5月に開館した佐久市立近代美術館は、令和5年(2023)で40年を迎えました。当美術館の開館は、佐久市が当市出身の実業家 油井一二(ゆい いちじ・1909-1992)から、彼の収集した美術コレクションの寄贈を受けたことが契機となりました。

油井は昭和6年(1931)、東亜美術協会に入社したことで、美術との関わりが始まりました。ここでの仕事は、巻軸に仮止めした「まくり」の絵画を風呂敷に包んで売り歩く風呂敷画商(絵画出張販売員)でした。その後、昭和16年(1941)に上野広小路に美術店を開業(東京大空襲で焼失)、昭和27年(1952)には絵画販売会社を設立しました。昭和40年(1965)に56歳で『美術年鑑』の権利を買い取り、美術出版業者となりました。

油井は、昭和51年(1976)8月、それまでの45年間で美術の仕事に関わりながら蒐集してきたコレクションを佐久市に寄贈するにあたり、1冊の図録『美の宝庫』(美術年鑑社)にまとめます。本展覧会では、この図録に掲載された多くの作品をご覧ください。油井が、愛着をもって接し仕事を通して深くかかわった作品から、昭和時代の美術文化の一面がみえてきます。それは、コレクター油井一二の美意識の表れといえるでしょう。

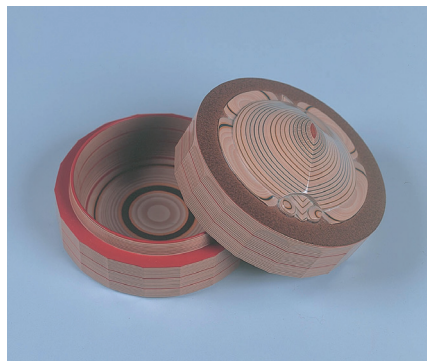
(前期では佐久市立近代美術館初期の、9月16日からの後期では佐久市立近代美術館の拡張していくコレクションをご覧ください。)



宇野雪村《MEI(鳴)》1982年制作



平榎田中《良寛とぞくろ》1972年制作



吾丸耕堂《堆漆龜香合》1978年制作



鱧利彦《初夏の路》1979年制作



岩橋英遠《都子(うべ)》1961年制作

会期中のイベント

状況により内容を変更する場合があります。
最新の情報は佐久市立近代美術館
ホームページをご確認ください。

● 当館スタッフによる展覧会ガイド

〔日時〕7月30日(日)
14:00~(30分程度)
8月26日(土)
14:00~(30分程度)

佐久市立近代美術館
油井一二記念館

SAKU Municipal
Museum
of Modern Art since 1983

〒385-0011 長野県佐久市猿久保35-5(駒場公園内)
<https://www.city.saku.nagano.jp/museum/>

TEL.0267-67-1055 FAX.0267-67-1068

公共
交通機関

JR北陸新幹線「佐久平駅」から
● タクシー約10分
● JR小海線へ乗り継ぎ「北中込駅」下車
徒歩15分

自動車

● 上信越自動車道「佐久IC」または
「佐久平スマートIC(ETC専用)」から約15分
● 中部横断自動車道
「佐久中佐都IC」から約15分



次回の展覧会
開館40周年記念
油井コレクションとその時代〔後期〕
油井一二コレクションから
佐久市立近代美術館へ

● 会期/令和5年9月16日(土)~11月5日(日)
● 開館時間/9:30~17:00
(9月16日は12:00から開館します)